

議会事務局 処 理 欄	受 付	令和7年2月20日	質問（受付）順位	4 番
		10時10分		
令和7年2月20日				
阿久比町議会 議長 山本 恭久 殿				
阿久比町議会議員 廣瀬 実 議席番号 11番				
一 般 質 問 の 通 告 に つ い て				
令和7年第1回定例町議会において次のように質問したいから通告します。				
番号	質 問 事 項	質 問 の 要 旨 （具体的にご記入願います）		備 考
1	グループホーム入居者と自治会との関わり方	第4次阿久比町障害者計画に、「ノーマライゼーションの理念を実現するために、様々な障がい者施策を推進してきました。」と記されています。 その中の障がい者グループホームについて質問します。 障がいのある方が、必要な支援やサポートを受けながら共同生活を行うことができる住まいとして、障がい者グループホームがあります。従来の、地域から遮断された入所施設ではなく、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、グループホームは地域移行の手段として、国が推進しています。 国は「脱施設」を進め、2014年に障がい者が地域で暮らす権利などを定めた国連の障害者権利条約を批准しました。 また厚労省の基本指針では、2026年度末の地域移行者の目標を、2022年度末の施設入所者数の6%以上としました。 しかし、障がいのある方への理解はほとんど進んでいないのが現実です。住み慣れた阿久比町で、すべての人が安心して暮らしていける支援が必要ですが、実感としてグループホームの入居者は、目立たないように周りとはあまり関わらないようにひっそりと暮らしていると感じます。また様々な理由で、ほとんどが「グループホーム」と建物に明記をしていないようです。そのため近隣住民は、私も含め、グループホームが存		

番号	質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (具体的にご記入願います)	
		在していること自体を知らない人が大半だと思われます。 施設側が地域移行をうたっても、受け入れ側の近隣住民や自治会にグループホームに対する知識・理解がなければ、地域移行は絵に描いた餅になります。 5つの質問をします。 ① 町内のグループホームの数、場所はどうなっているか。 ② 今後、町内にグループホームが増える計画があるか。 ③ 「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援をしていく」と障害者計画にあるが、具体的にどんな支援がされているか。 ④ 地元住民へのグループホームに対する啓発活動はどのようにされるか。 ⑤ 実際に受け入れる側の自治会とグループホーム入居者との関わり方について。	